

PWSの行動を理解することは、彼らを理解することが必要である。つまり彼らの頭の中で何が起きているのかを正しく理解することが必要であるという事を意味しています。考えてみれば、PWSの人たちや障害をもった人たちだけでなく誰にでもこの事は言えます。

Behaviour is a Form of Communication

行動（振る舞い）はコミュニケーションを取る方法のひとつである

行動はコミュニケーションや理解を深めるためのサインです、私たちはきちんと人がコミュニケーションしようとしていることを理解しなければなりません。彼らは何を感じ、見て、聞いて、理解しているのでしょうか？私たちは、同じ写真を見ることができ、異なったことを感じることができ、私たちは同じ音楽を聴くことができますが、異なった感情を持つことができます、また、人の話を聞くことができますが、全く同じ話を聞いているにも関わらず、私たちは違う結論や推測を出すことができます。

Why would this be anything different for a person

with PWS? なぜ、PWSの人たちはこれらのこと（上記のこと）が違ってくるのでしょうか？

私たちでも何かを見て、聞いて、感じて、理解しても、表す反応は様々です。私たちがどのような反応を出しているかは、行動を見れば理解することができます。もし、何かが好きなら、そう言いますし、行動を起こして、それを排除したり、無視したり、その場所から逃げ出したりします。もし好きなら、様々な色々な方法でそれを表現します。私たちの反応に行動が伴います。もし私たちに嫌な事が続けて起こったり、好きな事が続いたりすると、私たちの行動はさらに激しくなってきます。



Why would this be anything different for a person with PWS?**なぜ、PWSの人たちはこれらのこと（上記のこと）が違ってくるのでしょうか？**

この世の中で日頃の生活が出来るように、自分と同じ価値観を持つ人と一緒に仕事をする、社会活動を行う、そして結婚をする傾向があります。

私たちはお互いを理解するためにこのような行動を取ります。また、私たちは決定の選択肢、つまりよりうまくいくための材料を持っているので、上記のような行動をします。

PWSの人々は、多くの経験や様々な反応を選んで表現する力を持っていません。選択肢がないということは彼らの行動が・・・つまり彼らのコミュニケーション・・・私たちとは違ったものになるということです。

彼らのコミュニケーションを理解することは、PWSの行動を理解する鍵になります。

；私たちはPWSの人と同じレベルでコミュニケーションをする事を学ばなければなりません。これは新しい言語（外国語）を学ぶことに似ています。

私たちは、聞くこと、見ること、感じること、そして双方が理解できる方法で言い換えることによってPWS自身を、要求を、感情を理解する必要があります。

時々、理由も無く怒りの行動は起こります。事前にその行動を読めても防げないこともあります。

時々、その行動は手当たり次第におこるように思われていますが、時に彼らはあなたをののしったり、騙したり、操ったりするために事前に考えているのです。

問題が起こるたびに、それがコミュニケーションの表現なのだと考える必要があります。このような問題とされる行動を解決する最も効果的な方法は最初の場所で起こることを防ぐことです。問題とされる行動を引き起こすもっとも共通なことは、不安です。知的障害を持つ人たちにとって不安は、もっとも大きな脅威です。

What makes you anxious?

何があなたをそんなに不安にさせているの？

私を不安にさせることのいくつかは、おそらくあなたを不安にさせることと同じだと思います。

- ・ 自分が伝えようとしている事を他人が理解してくれない
- ・ 他の人を理解できない
- ・ 計画（予定）を急に変更しなければならない
- ・ 時間・約束とおりに人は自分に会いに来ない（悪習）
- ・ 疲れている、落ち込んでいる、怒っている
- ・ 食べ損なう

これらは確かにPWSの人たちを不安にさせる事柄と同じです。

PWS の人たちと違うことは、私は自分の不安を人に伝えることができることです。

私は不安をコントロールできます。

私たちは PWS の人たちが不安な気持ちを伝え、安心できるために、不安をコントロールする手助けをしなければなりません。

What can we do to help? : 私たちはどんな手助けができるのか?

・彼らにしっかりと理解させることができない

理由

—叫ぶ、悲鳴を上げる（あなたは私の言う事を聞いてくれない！あっちへ行け！嫌い！）

—侮辱する、ののしる

座らせて、静かに話をする。そしてこのように尋ねる

“ごめんね、私はあなたがしてほしいことがわからなかったの、もう一度話してみて、しっかり聞くからね”

“どうしたらうまくいくか一緒に考えましょうね”

・私たちが言っていることを理解できない時

理由

—言葉を繰り返す

—何かをすることに対して頑固になる、拒絶する

—自分が正しいと主張する（固執）

—誰か他の人が～しなさいと言ったと言い張る

座らせて、時間をゆっくりとってそのことについて明確に説明する、しかし決心するきっかけを作るために、たくさんのよいことを話しに盛り込む。

長い返事は短い返事よりはよい。

彼らは詳しいことを知りたがる、なぜなら、このことは自分たちの世界をよりよく理解するのを助けてくれるからです。

・変更や新しいルールを作る環境を持っている

もし、規則や境界線が変更される予定がある場合、なぜ変更するのかを発達段階にあわせて上手に説明する。彼らに変更の理由を話す。あなたの推論を説明し、そして彼らにもこの決断を出すのに選択肢があるように思わせてください。もし、他の人が巻き込まれたら、（ヘルパー、先生、親など）彼らにもその課程や決まり（規則）や決断をしっかり知ってもらうこと。

Anxiety around food: 食べ物についての不安

PWS の人たちは過食に対する不安をもっています。

あなたや私は食べ物を選ぶことができます；彼らはできません。

・ 時間通り食事が作れていない

理由

—不安が増す、繰り返しの質問、フラストレーション、怒りの急な高まり

なぜ、食事が遅くなるのかを説明する。 必要な場合、食事を作る人や管理する人も含めて説明をすることにより助ける。

PWS の人たちにテーブルセッティングのような重要な仕事をさせる—このような過程は彼らにとってとても有益なものになるからです

**Not having “enough” food 食事の量が足りない**

“彼は私よりたくさんの量をとっている！”他の人と食べ物の量を比較することや、自分たちよりたくさん食べていると主張することは、彼らに失望感やごまかし、怒りを感じさせることとなります。

人の前で食べ物の量を量ったり大きさを比べたりして、献立を作る場所まで戻る必要があるかもしれない。 これをすることによって、台所（厨房）からテーブルに届くまで量が誰か（他人）の手で取られていない、量が少なくなっていないことが証明できる。

食事の量は PWS の人たちにとってはとても大切なことです。

自然に覚えてくると思いますが、肉やパスタや高カロリーのおかずの量の少ないものよりも、低カロリーの食材の料理をたくさん出すと良いです。

PWS の人たちにとって、量が多いことはいつもいいことなのです。

不安は多くの異なった行動をおこさせます。

ここに PWS の共通した行動を載せています。

- 言うことをきかない
- 失望感
- 理屈っぽい
- 強制的行動を主張する
- 否定（拒否）
- コミュニケーションや集中力のレベルの低下
- 困惑

不安から怒りの行動になり、その行動が益々激しくなりそうであれば、もしその時点での介入が可能であれば介入することは良いでしょう。

もし私たちがその人を導きなおすことができれば、もし私たちが、不安が何かを見つけ取り除いてやることができれば、行動の激発の拡大をとめるともよいきっかけになるに違いない。

覚えておくこと； あなたは口論では勝ってはいけません。だから、口論の原因を生み出してはいけません。

もし PWS の人が口論を始めたら、その問題から上手に逃げなさい。

必要であれば“今から部屋を出てきますが、すぐ戻るからね” と彼らに伝えてもよいでしょう。